



せい しん つう しん
聖 心 通 信

札幌聖心女子学院

校長 齊藤 隆浩

第4号 2022年6月30日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10番1号
 URL <https://spr-sacred-heart.ed.jp>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667(職員室直通)
 FAX 011-612-0980

校庭の緑が鮮やかさを増し、夏の訪れを実感する日々です。2022年も半分が過ぎました。コロナ禍は大分落ち着き、学校も日常を取り戻しつつあります。一方で、世界情勢は不安定なままです。引き続き感染症対策には十分留意し、世界の平和を祈りつつ一人ひとりが今できることに精一杯取り組んでいけますように。

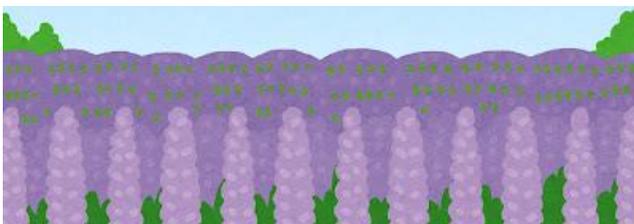


7月の予定



		行事	弁当
1	金	母の会パン販売(12:25~13:10)	要
2	土	サタデープログラム⑦	
3	日	第1回英検二次A	
4	月		要
5	火	高校進研模試① 母の会聖書サークル(10:30~Sr.田口)	※
6	水	梅干し弁当募金③ 課題研究ミーティング③	要
7	木		要
8	金		要
9	土		
10	日	第1回英検二次B	
11	月		要
12	火	放送朝礼 漢字コンテスト①1限	要
13	水	職員会議(15:40~)	要
14	木		要
15	金		要
16	土	聖ソフィア祭	※
17	日	寄宿サマープログラム	
18	月	海の日	
19	火	母の会聖書サークル(10:30~Sr.井出)	要
20	水	結団式(SOFIS他)	要
21	木	LHR 全校講話②(交通安全他)	要
22	金	終業日 大掃除・オンライン終業式 寄宿生帰省日	不要
23	土		
24	日		
25	月	学校閉鎖	
26	火		
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		

- ☆ ※の日は、必要な方は昼食をご用意ください。
- ☆ 梅干し弁当：昼食はおにぎりのみとし、おかず代分の募金をします。
- ☆ 行事予定は暫定のものです。大きな変更がある場合には、一斉メールや学校ホームページ等でお知らせいたします。



ローファアの価格変更について

ローファアが、10/1(土)より値上げされます。
 下記ご確認ください。

<現行価格> 7,150円(込) → 7,590円(込)

※ 26.0cm~26.5cm は、
 8,250円(込) → 8,690円(込)

梅干し弁当募金

6月15日(水)に行われた梅干し弁当募金は、あしなが学生募金事務局で役立てていただくために行いました。みなさまのご協力により、**総額 37,114 円**を送金することができました。寄付されたお金は、病気・自死・災害によって親を亡くした子どもたちや親に障がいがある子どもたちの奨学金、またサブサハラ・アフリカの遺児たちが高等教育をうけるための奨学金として使われます。

ご協力ありがとうございました。

Congratulations!!

2021 年度新型コロナウイルス感染症予防啓発ポスター&川柳入賞者(2021 年度中 2)

<ポスター部門>

- 中3 都筑暖和 札幌市長賞 / 医大賞 / 花王賞
- 中3 大橋咲良 札幌市教育長賞 / 啓明中賞
- 中3 上鹿渡凜乃 こびまる賞
- 中3 小宮綸 がんばる細胞さん賞

<川柳部門>

- 中3 高橋菜乃葉 ユニセフ賞 / 花王賞
- 中3 稲葉明音 北海道日本ハムファイターズ賞

聖心（みこころ）の祝日

6月21日(火)は聖心(みこころ)の祝日の行事として、中2、高1、高2は清掃活動、高3は北海道札幌視覚支援学校との交流会を行いました。私たちは聖心の生徒としてイエス様の聖心(みこころ)を伝え、まずは身近なところから、愛にあふれる平和な世界をつくっていくことができますように。



↑中2 聖恩寺

中2 札幌彫刻美術館→



↑高1 荒井山
連合町内会の
みなさんと



高1 大倉山
ジャンプ競技場→



←高3 札幌視覚
支援学校
交流会

↓高2 五天山
公園



環境科学ミーティング 「原発訴訟を通じてエネルギー問題を考える」

6月22日(水)は、日弁連公害対策環境保全委員会委員として原発に頼らない温室効果ガス削減の道を模索している菅澤紀生弁護士をお迎えし、お話を伺いました。原発と核のゴミの問題について、また、建物の断熱、省エネ、バイオマスエネルギーなど、エネルギーにまつわる様々な問題について考えを深める貴重な機会となりました。



今月のこころのことは

「どんな詩よりも木は美しい。…一日中神を見つめて、葉の茂った枝を、腕のように空に差し伸べて祈っている。」(試訳)

“I think that I shall never see a poem lovely as a tree. …A tree that looks at God all day, and lifts her leafy arms to pray; (ジョイス・キルマー)

祈れないときがあります。そんな時、一步校庭に踏み出すと、この詩のように、校庭の木々が、祈りに導いてくれます。校舎内に関係者の皆様の思いが寄せられた絵や備品が多くあるように、校庭の木々や花壇、運動施設なども卒業生やそのご家族、旧職員、姉妹校関係者の皆様の温かいお心で植えられ、整えられたものばかりです。初代から60年近く、校庭の世話を黙々と続けてくださる方々の努力もあって、「天国のような庭」と訪れる方々に言われています。

シェークスピアの作品に出てくるハーブを集めたハーブガーデンはかつてこの庭でシェークスピアの授業をした英語科の旧職員が今も季節ごとにご夫婦で来校され、お世話して下さいています。ベンチに座ると祈りがわきあがります。

玄関前には、卒業生のご両親が何十年も季節ごとに贈り続けてくださる美しい花の寄せ植えが2鉢、可憐な姿に感謝が溢れます。

先日、数十年前にたくさんの木々をお贈り下さった卒業生のご両親が来校され、校門の傍の美しいコロラドツツジを手ずから植えてくださった折のお話を伺いました。どの木もご自分の子どものように思い、祈りを込めて植えられたことを実感するひとときでした。そのほかにも皆様から寄付いただいた多くの木々が、校庭を祈りの庭にしています。テニスコートの手前にある2本の柏の木は、2004年9月の台風で校庭の60数本の木々が倒れた時、今は天国に行かれた方を含む当時の父の会のお父様方が、様々な場所からどんぐりを集めて校庭に植えてくださったものです。たくさんのどんぐりの中で、この2本が見事に成長し、今は見上げるほどになりました。



柏の木

私が気持ちを散らし、忙しく駆け回っている間に、この木は次元の違う時の流れの中で、「一日中神を見つめて」、「手を差し伸べて祈って」いることを忘れずにいたいと思います。そしてすでに巣立った卒業生、やがて巣立つ在学生の一人ひとりのために、この木々のように、祈りを捧げつづけたいと願います。

[チャプレン Sr.田口保子]

